

あさかそすい
安積疏水と工業のつながり

年表をもう一度見てみましょう。

「安積疏水ができてから、工場が多くつくられたね。」

ぬまがみ
「沼上発電所ができてからのの方がすごいわよ。」

「そういえば、^{きいと}生糸工場、たばこ工場、ぼうせき工場、化学工場など、次々に工場がつくられているね。」

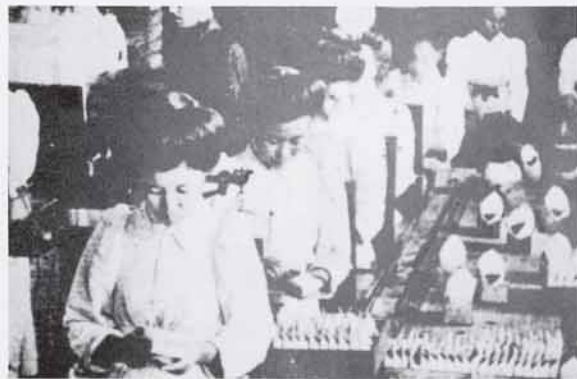
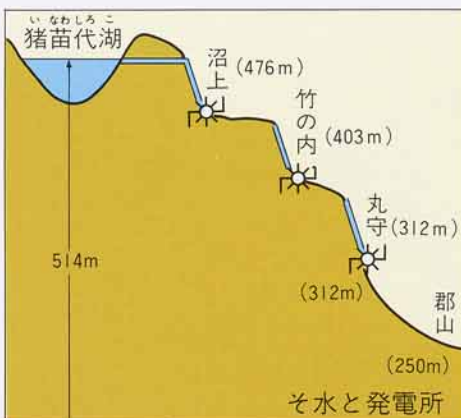
「でも、^{かんけい}疏水と工場、発電所はどんな関係があるの。」

そこで、市のむかしのことを調べているおじさんに、お話を聞かせてもらいました。



おじさん

1898年、郡山^{けんし}絹糸^{せいし}ぼうせき工場は製糸^{せいし}かいを電力で動かすために、安積疏水の水を利用して^{ぬまがみ}沼上発電所を作りました。そこでつくられた電気は市内まで送電されたので、電気を利用したい工場が次々とつくられました。さらに、疏水の水は工業用水としても利用できるのです。水と電力をえた工業はめざましく^{はっ}展^{てん}していったのです。



たばこ工場の作業風景